

<先回りの指導の事例>

① 話し始める前に聞く姿勢について確認

日直の児童による朝の会の司会が終わり、A先生は教壇に立った。教室をゆっくりと見渡ししながら「話を聞く姿勢はできていますか。話を聞く力をつけることは大切です。おへそは先生の方に向けていますか。手は膝の上にありますか。」と問いかけると児童らは背筋を伸ばし、A先生に注目した。

【2021年5月20日 フィールドノート】

② 計画帳を提出する前の声掛け

朝の会終了後、A先生が授業予定を板書するに従って児童らも計画帳を書き始めた。(中略)児童の多くが計画帳を写し終わったことを確認したA先生は「歩いて計画帳を出しにきましょう。」と呼び掛けた。児童らは落ち着いた様子で計画帳を提出するために列を作った。

【2021年10月7日 フィールドノート】

③ 教科書の背表紙の音について確認

音読が終わり、「皆さん、上手に読むことができましたね。静かに教科書を置きましょう。」というA先生の声掛けに対し、児童らは音を立てないように、そっと教科書を机に置いた。

【2021年10月14日 フィールドノート】

④ 整列前の声掛け

音楽会の練習が始まり、入退場時の並び順を確認することになった。「今から入退場をするときの並びの練習をします。しゃべらず、走らず移動をしてください。お友達とぶつかると危ないから、落ち着いて移動をしましょう。(中略)自分の場所は確認できましたか。それでは静かに立ちます。移動しましょう。」A先生の合図で児童全員が移動を始め、一人も話さず、走らず入退場の順に整列をした。児童全員が並び終わったことを確認し、A先生は「すばらしいですね。静かに、素早く並ぶことができましたね。」と伝えた。

【2021年10月20日 フィールドノート】

<オンタイムの指導の事例>

⑤ 教科書の背表紙の音に関する指導(行動の制止)

全員での音読が終わると、多くの児童が教科書の背表紙を机に当てながら置き、「コツン」と教室中で大きな音が鳴った。A先生は学級全体を見渡して伝えた。「教科書を机に置くとき、わざとじゃないと思うけど、カーンという音がしないように気を付けましょう。」

(中略)列ごとに、児童一人ずつの音読が始まった。Kさんが音読をしている際、Q君が教科書の背表紙をコツンと鳴らしながら机に置いた。A先生はQ君を見つめ、諭すように注意をした。「誰でもか、音を鳴らした人は、友達が音読をしているから、教科書を置くときに音を出しません。人の音読を聞けない人は音読できませんよ。」そのようにA先生は男児Qを注意した後、次の児童に音読をするよう促した。

【2021年5月20日 フィールドノート】

⑥ 平仮名練習時の声掛け（モデリング）

平仮名の練習が始まり、A先生が「静かに練習を始めている人がいますね。」と声を掛けると、自由に発言をしていた児童らは静かになった。しばらくして、「姿勢良く練習している人もいてすばらしいですね。」というA先生の声掛けを聞き、多くの児童が背筋を伸ばして姿勢を正した。

【2021年5月27日 フィールドノート】

⑦ 学習プリントを終えていない児童に対する声掛け（切り分け）

国語科の授業が始まった。前時の生活科における観察プリントを作成している数名の児童に対して、A先生は「観察プリントを丁寧に描くのはすばらしいことです。だけど、時間を守ることも大切だからね。時間を守れるようにしていこうね。」と声を掛けた。

（中略）平仮名の練習が始まってしばらくすると、Q君が「疲れた。」と大きな声を出した。数名の児童が「えー、もう疲れたの？早いよ。」と声を上げる中、A先生が「一生懸命に書くと手も頭も疲れますよね。」と声を掛けると、Q君も周りの児童も真剣な表情で練習を続けた。

【2021年5月19日 フィールドノート】

⑧ 漢字練習中に気付きを発言した児童への声掛け（切り分け）

国語科における漢字学習の際、Kさんが「あ、四という漢字の中に片仮名のルが入っているよ。」と自由に発言をした。A先生も周りの児童も反応せずにいると、「四の中にルがあるよ。」と少し声を大きくして繰り返した。A先生はKさんに視線を向け、「漢字の中に片仮名が隠れていますね。気付きがあることは素晴らしいです。でも、今は皆が静かに漢字の練習をする時間です。思ったことをすぐに口に出しません。」と注意を促した。Kさんは素直に「はい。」と返事をし、真剣な表情で練習を始めた。

【2021年9月30日 フィールドノート】